



練馬区公式アニメキャラクター ねり丸  
©練馬区

練馬区

# これからの町会・自治会運営のヒント集

～誰もが住みよいまちを自分たちの手で実現するために～



平成 31 年（2019 年）1 月

練馬区町会・自治会のあり方検討会議



## はじめに

経済の発展と急速な都市化、人々の働き方や価値観の多様化などにより、町会・自治会の加入率が低下するなど地縁に基づく活動に参加する機会が減っており、地域のつながりや連帯感も希薄となってきています。こうした状況に歯止めをかけようと、練馬区町会連合会では、平成 30 年 1 月、区と東京都宅地建物取引業協会練馬区支部、全日本不動産協会東京都本部練馬支部と四者で協定を締結し、加入する不動産事業者に不動産売買や賃貸の仲介時に加入案内をしていただいています。また、地区祭などでの町会・自治会加入促進キャンペーンにも区と一緒に取り組んでいます。さらに、区では、各区民事務所において転入者に対して加入案内をしていただいています。

そうした中、練馬区町会連合会では、地域活動への参加率を高め、地域活動の担い手の確保、ひいては町会・自治会の加入率を上げられないか、そんな思いから、平成 30 年 5 月に「練馬区町会・自治会のあり方検討会議」を発足させました。メンバーは、募集に応じていただいた町会・自治会の会長をはじめ、実務を担当されている方など 20 名の有志で構成されています。検討会議ではこれまでに 6 回の議論を重ね、このたび、「これからの町会・自治会運営のヒント集」をまとめました。

町会・自治会の活動に「これが正解」というものではなく、それぞれの地域特性や規模、状況に応じた活動が求められているのは言うまでもありません。一方で、他の町会・自治会の工夫を知ることで、自分たちの活動を見直すヒントにもなります。そんな思いで、このヒント集をまとめました。各町会・自治会の活動の参考となれば幸いです。

練馬区町会連合会会長 加藤 政春

練馬区町会・自治会のあり方検討会議メンバー一同

# 目次

1. これからの町会・自治会運営のヒント集『困りごとからの索引』	2
2. 練馬区の町会・自治会と住民意識の現状	3
3. これからの町会・自治会運営のヒント集【本編】	7
(1) 町会・自治会活動の意味を説明する際のヒント	7
(2) 町会・自治会への加入者を増やす取り組みのヒント	12
(3) 町会・自治会活動の担い手不足に対応するヒント	20
(4) 地域の変化に対応する町会・自治会運営のヒント	28
4. 町会・自治会に対する支援事業	35
(1) 練馬区による町会・自治会に対する支援事業	35
(2) 東京都や一般財団法人自治総合センターによる町会・自治会に対する支援事業	36
練馬区 町会・自治会のあり方検討会議〈検討会議の構成〉	37

# 1. これからの町会・自治会運営のヒント集『困りごとからの索引』

町会・自治会の運営で、こんな困り事はありませんか？ 町会・自治会の運営で、困ったときには、それぞれのページのヒントや取り組み例が、参考になります。



## 町会・自治会の意味を尋ねられて困ったり、うまく説明できずに困っている

町会・自治会活動の意味をどう伝えるか？ ..... 7



## 町会の加入者を増やしたいが、どうしたらいいか困っている。

### ・ 加入が難しい人にどのように働きかけますか？

新しく引っ越してきた人が町会・自治会に加入しない ..... 13

住んでいるが、町会・自治会に加入していない人がいる ..... 15

地域のことに興味を持っていない人がいる ..... 16

### ・ 加入促進の難しさを感じるのは、どのような場面ですか？

町会・自治会が何をしているのか伝わっていない ..... 17

イベントなどでチラシを配っても参加者が増えない ..... 18



## 活動の担い手が足りないが、どう参加を促したらいいか、困っている

ライフスタイルが多様化し、活動できる時間が合わない ..... 21

子育て世帯が町会・自治会と接点を持っていない ..... 22

定年退職した人などが、町会・自治会活動に関わってくれない ..... 23

活動量が多い・活動費の持ち出しなど、担い手の負担への懸念がある ..... 26



## 役員会が前向きな人ばかりでなく、困っている

町会・自治会内で加入促進の考え方に違いがある ..... 19

次の役員を見つけるのに苦労している ..... 24



## 地域や住民の状況が変化しているが、何から手をつけたらいいか、困っている

高齢化する地域で、高齢者の孤立・介護などの問題に対応したい ..... 29

地域に接点を持っていない子育て世代が増えているので対応したい ..... 30

災害や犯罪に対して不安が高まる中、防災・防犯の活動を強化したい ..... 31

インターネットの利用者が増えている状況に対応したい ..... 33



## 区の町会・自治会への支援策、相談窓口がわからない

練馬区による町会・自治会に対する支援事業 ..... 35

東京都や一般財団法人自治総合センターによる町会・自治会に対する支援事業 ..... 36



## 2. 練馬区の町会・自治会と住民意識の現状 ～これからの町会・自治会活動を考える前提として～

### (1) 区政における町会・自治会活動の位置づけ

練馬区の町会・自治会は、これまで区政のパートナーとされてきましたが、平成 30 年に策定された「グランドデザイン構想」において、改めて明確に位置づけられています。特に、地域の現状として、『地縁に基づく互助』は、町会・自治会を中心に取り組まれている」とされています。

#### 【地域の現状】

**「地縁に基づく互助」と「公助」が連携した「公共サービス」が地域の生活基盤を支えている**

▶ 「地縁に基づく互助」は、町会・自治会を中心に取り組まれている

○区内最大の地縁団体である町会・自治会（区内 252 団体）を中心に、地縁に基づき活動する各種団体が、地域住民同士の互助に取り組んでいます。

○「地縁に基づく互助」と、「公助」としての行政サービスが連携し、地域の生活基盤を支える「公共サービス」を担っています。

－ グランドデザイン構想 31 ページより抜粋

また、区の取り組みの方向性の中でも、これからも「町会・自治会を中心とする『地縁に基づく互助』の活動は、今後の地域においても不可欠」と明記されています。

#### 【区政の取り組みの方向性】

**町会・自治会を中心とする「地縁に基づく互助」は地域のために欠かせない**

▶ 町会・自治会を中心に取り組まれる「地縁に基づく互助」の活動は、今後の地域においても不可欠

○他の団体には無い特性がある

町会・自治会は、区内最大の住民組織であり、区内すべての地域を網羅している。地域の全世帯・住民に開かれている、他の団体には無い特性を持っています。

○有事の際に大きな力を発揮する

地域防災や一人暮らし高齢者の見守りなどの活動分野は、地縁に基づく互助とは切っても切れない関係にあります。平時からの協働があるからこそ、有事に協働が機能します。

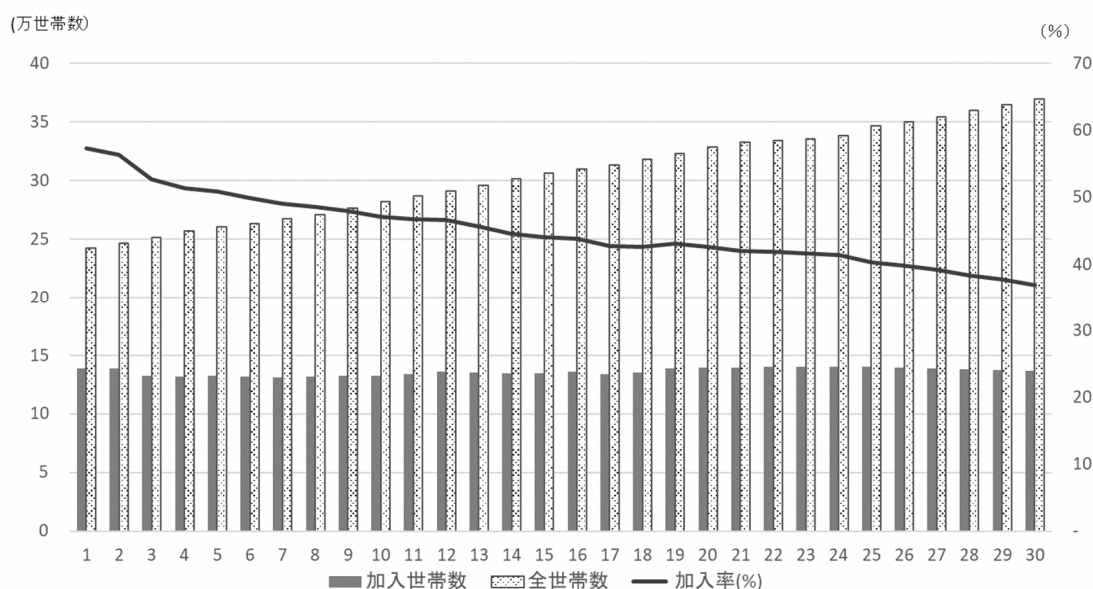
－ グランドデザイン構想 27 ページより抜粋

## (2) 加入率の低下に対する現状

### 現状1 町会・自治会にとって新たに転入してきた人や若年層の加入が課題となっている

平成30年8月現在、練馬区の世帯数は約37万に対して、町会・自治会の加入率は36.9%※1となっています。図1の折れ線グラフにあるように、加入率は減少傾向が続いています。ただし、加入世帯数（濃い棒グラフ）は14万強で推移し、減少傾向ではありませんが大きく変化していないことがわかります。つまり、加入率の低下は、全世帯数（薄い棒グラフ）がこの20年間で増加しているにも関わらず、加入世帯数が伸びていないことが理由として考えられます。

図1 町会・自治会加入率・加入世帯数の推移



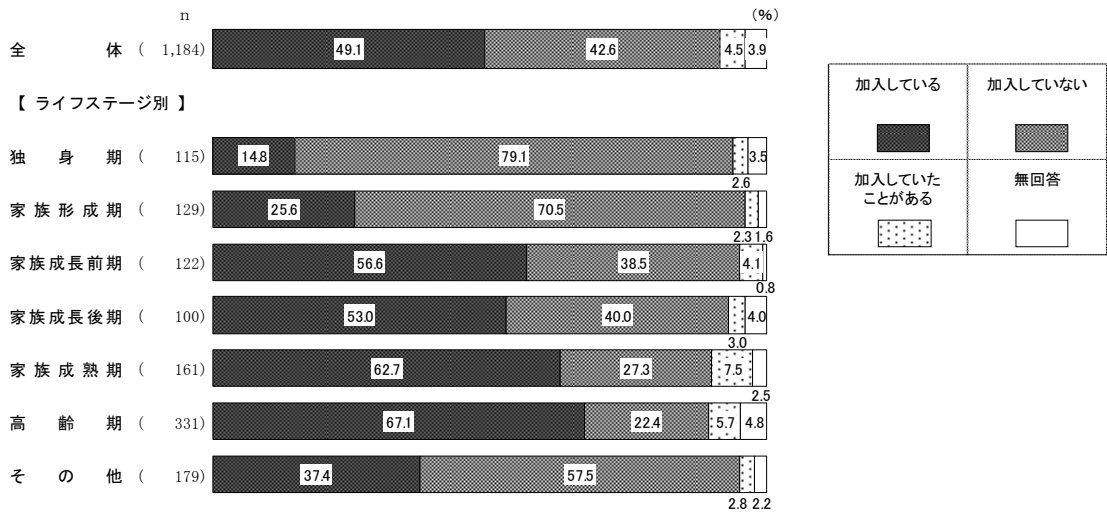
(資料) 練馬区

また、区民意識意向調査（平成29年度）から、ライフステージ別の加入状況（次ページ図2）をみると、家族成長前期から、家族成熟期・高齢期の加入率までは高いが、独身期、家族形成期（若年層）の加入率が低いことがわかります。

町会・自治会の維持、発展のために、新たに転入してきた人や若年層の加入をどう促すかが課題となっています。

注) ※1の加入率(36.9%)は、全世帯数に対する加入世帯数の割合であり、※2(図2)の「加入している」の割合(49.1%)は区民意識意向調査(平成29年度)にご協力いただいた回答数(1,184)に対する割合であるため、数値が異なります。

図2 ライフステージ別の町会・自治会への加入状況（区民意識意向調査）※2

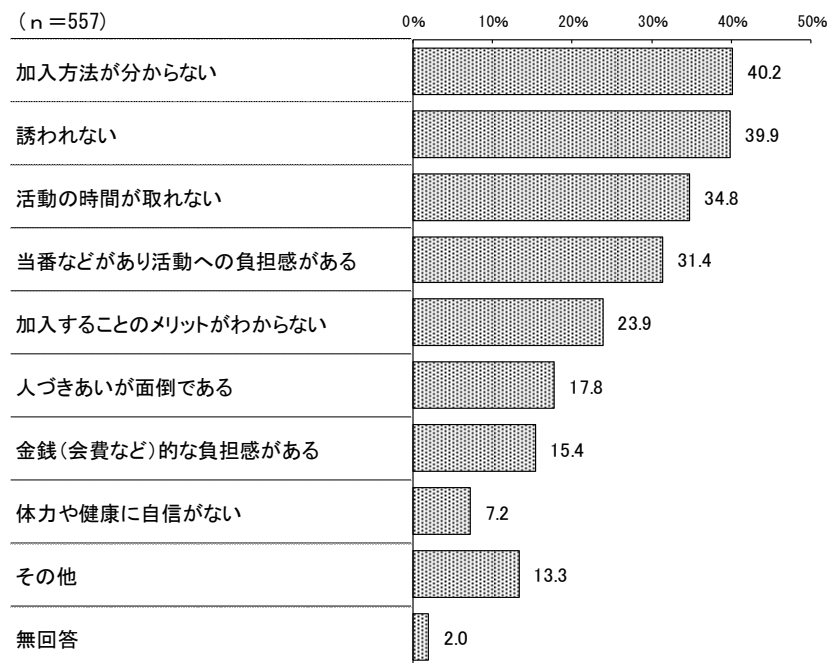


**現状2 加入していない人は、接点を持っていない**

区民意識意向調査（平成29年度）で町会・自治会に加入していない人にその理由を尋ねたところ、「加入方法がわからない」「誘われない」が多くあがっています。近年、個人のプライバシーも重視する中で、新しい人への声かけなどもしづらくなっています。また、続いて「活動の時間が取れない」「当番などがあり活動への負担感がある」などの理由があがっています。（図3）

町会・自治会に加入していない人は、日頃から町会・自治会と接点を持っていないことがわかります。加入促進において、活動に参加できない、活動自体へ否定的というよりは、加入のきっかけがないことが、まずは課題であるといえます。

図3 町会・自治会に加入していない理由（区民意識意向調査）



### (3) 担い手不足に対する現状

#### 現状3 加入していても活動していない人が多い

区民意識意向調査(平成29年度)によると、町会・自治会に加入している人の中でも、ほとんどの活動に参加している人は約3%であり、約45%は会費の負担のみで活動に参加していないことがわかります。(図4) 町会・自治会への加入率を高めるだけでなく、活動の担い手を増やすことも、町会・自治会の課題です。その一方、「できる範囲で活動に参加している」「つきあい上、必要最低限の範囲で参加している」人が約5割いることもわかります。また、町会・自治会に加入している人に「加入して良かったこと」をたずねたところ、「地域の情報が得られる」「人とのつながりができる」が約3割を超える一方で、特にないと回答した人が約3割います。(図5)

加入していても活動していない人に、どのように活動の意義を伝え、担い手になってもらうかが課題となっています。

図4 町会・自治会に加入している人の活動への参加状況(区民意識意向調査)

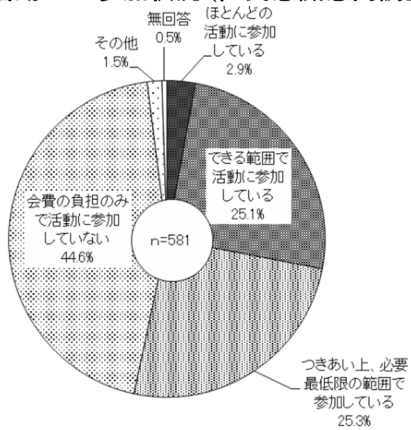
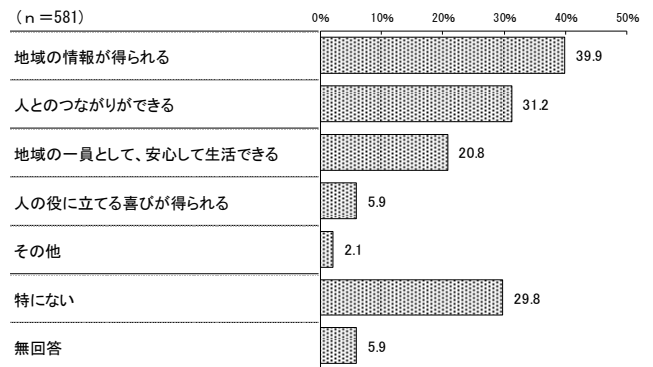


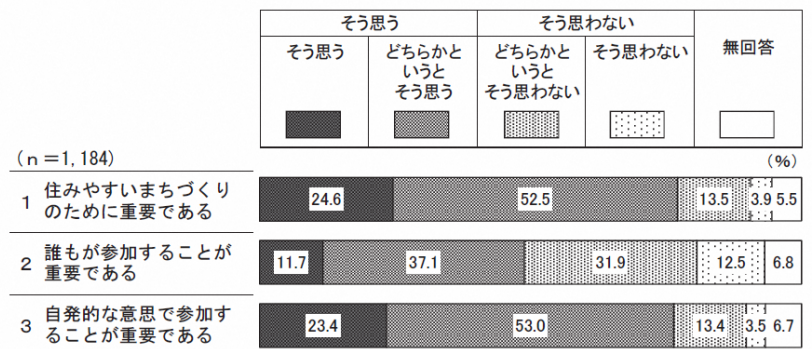
図5 町会・自治会に加入している人の加入して良かったこと(区民意識意向調査)



#### 現状4 町会・自治会の必要性を感じている区民は多い

町会・自治会の加入率が下がり、活動に積極的に参加する人も限られている状況の中でも、町会・自治会は「住みやすいまちづくりのために重要である」と考えている人は、約8割います。このような人たちをどのように担い手につなげていくかが課題となっています。(図6)

図6 町会・自治会に対する意識(区民意識意向調査)



### 3. これからの町会・自治会運営のヒント集【本編】

#### (1) 町会・自治会活動の意味を説明する際のヒント

町会・自治会を運営されている皆様は、地域の方から「そもそも町会・自治会は必要なのか」、「何のためにあるのか」といった質問を、これまで何度も受けたご経験があるのではないのでしょうか。

ライフスタイルの多様化に伴い、町会・自治会などの「地縁に基づく助け合い」の關係に慣れていない人、町会・自治会のイメージがわからない人、「面倒くさそう」などの否定的なイメージを持つ人などが、少なからずいらっしゃいます。そのような人々に対して、ただ「町会・自治会に入って当然」という姿勢では關係づくりが難しくなります。

ここでは、町会・自治会の意義や活動を伝える言葉をまとめました。

町会・自治会の状況に応じて、使えるものを選んで、説明の際のヒントとして活用していただけたらと思います。

## 町会・自治会はどうして地域に必要なのでしょうか？

現代の地域における町会・自治会の存在意義を、大きく4つにまとめてみました。

### ①地域のつながりの基盤

「遠くの親戚より、近くの他人」という言葉があります。それぞれの仕事や生活でのつながりで十分だという考え方もありますが、困ったときに近所に声かけをする相手や、相談できる人がいることは、安心できる暮らしにつながります。

地震や災害などの問題は突然発生します。何かあってから、誰かに頼ったり、助けを求めたりするのは、とても難しいものです。日頃から地域の行事を通して顔なじみになり、一緒に活動した経験を共有できるなど、地域のつながりの基盤となる役割を果たすのが町会・自治会です。

### ②安全・安心づくりの基盤

広域で人口も多い練馬区では、災害対応をはじめ、地域の安全を守るのは、行政や警察・消防だけで十分に対応することは困難です。この点、町会・自治会は、地域の実情を知り、多くの情報を持ち、自分の住む地域のことを一番に考え、迅速に対応することができます。子どもや高齢者の見守りやパトロールにより放火や犯罪を防ぎ、孤独死をなくした実績もあります。また、雪や豪雨の時の助け合いやごみ問題や地域トラブルへの対応がスムーズになった例もあります。

### ③地域に対する意識や愛着を高める基盤

自分たちで工夫したイベントへの参加や運営の経験などを通して、地域に住む人たち同士で共有できるものが増えるほど、人間関係を形成しやすくなり、生活をより充実させることにつながります。子どもたちにとっては、幅広い世代の方々と触れ合うことで、社会性を育む機会にもなります。また、そのような経験を通して、地域への愛着も生まれ、自分のまちを良くしたいと考える方も増え、生活環境の維持・改善への活動に発展することが期待できます。

### ④住民と行政をつなぐ基盤

町会・自治会は、行政や各種機関と日頃から連携しており、住民が生活する中で困ったときに、どこに相談すればいいかを案内する、住民と行政をつなぐ役割を果たしています。また、地域に特化した情報を受けとめる役割も果たしています。地域のあり方やまちづくりなどについて、町会・自治会の中で議論し、合意できれば、地域の考えとして行政に訴求することもできます。

## 町会・自治会に入ること、どのような意味があるのでしょうか？

町会・自治会に未加入の方、入っていても日頃の活動に参加していない方から、「町会に入る意味は何か？ 入って何を得られるのか？」と質問されたときの回答例などをまとめました。

### ○身近な地域の関係づくり

近隣同士で挨拶を交わす関係をつくるきっかけができます。さらに、活動を通して、地域で顔見知りが増えれば、地域のことを知りたいとき、困りごとで相談したいときに、声かけできる方がすぐに思い浮かぶようになります。

### ○困り事の解決

町会・自治会に参加することで、自分の状況を周りの人に知ってもらえ、困ったときには近隣にお住いの町会員が手を差し伸べやすくなります。その結果、行政などへもつなげられやすくなり、問題を解決しやすくなります。

### ○身近な地域の情報の入手

身近な場所での地域課題やイベントなどの情報は、練馬区報やインターネットからでは入手しづらいものです。町会・自治会に入ること、回覧板などにより地域ごと細やかな情報を得やすくなります。

### ○イベントを通じた地域参加のきっかけづくり

普段、地域の接点を持ちたくても持てていない人にとって、イベントへの参加は、地域とつながりを持つ一つのきっかけとなります。イベントを通じて顔見知りを増やしていくことで、助け合いの関係が広がります。

### ○防災・防犯

災害対策の準備、防犯活動、子どもの通学時の安全対策などは、1人で気をつけていても限界があります。町会・自治会に入ること、人のネットワークができ、地域を守る活動や防災対策を充実させることもできるようになります。自分や家族の身を守る術を広げるという意味もあります。

### ○個人では難しいことの実現

防災の備蓄、消火栓など、地域には安全・安心のインフラが整っていますが、個人で使いこなすこと、維持・管理することは困難です。また、身近な場所での高齢者や子育て世帯のためのイベントなど地域に役立つ活動は、個人では実現しづらいものです。町会・自治会の力を借りれば、体験や活動を行いやすくなり、行政の支援なども得やすくなります。



## 地域の企業やマンション管理組合に伝えるには？

町会・自治会の加入対象者は、個人だけではありません。地域の企業なども地域の担い手として期待されています。また、マンション管理組合との関係づくりも大切になっています。そのため、地域の企業、マンション管理組合に対して町会・自治会の意義を説明する機会は大切です。

ここでは、地域の企業やマンション管理組合への説明の例として、関町南北町会の依頼状（抜粋）の例を紹介します。

### 【企業への加入説明、依頼状の例（関町南北町会：抜粋）】

株式会社〇〇 様

平成 年 月 日  
関町南北町会会長 〇〇〇〇  
" 会計 〇〇〇〇

関町南北町会加入のお願い

秋初の候貴社ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。  
平素より関町南北町会にご理解とご協力ありがとうございます。

町会は同じ地域で暮らしている人々が集まり運営している組織で、町会加入は任意であることから、企業・団体様毎の実情に合わせていくことも考えなければなりません。関町南北町会では次のような取り組みをしております。

- ・夏まつり、こども縁日、関小応援団祭り、ちびっこ相撲など子供の交流が盛んである。また地域住民の交流を深めるために各種イベントを開催しています。
- ・首都直下型地震の想定では、関町南北町会の区域は危険度が低く、消防や警察が十分行き届かないこともあることから「自分たちのまちは自分たちで守る」と防災会を立ち上げました。毎年、防災訓練や体験学習会を実施しています。
- ・災害時の情報や物資は避難拠点である関町小学校に届きます。関町小学校避難拠点運営連絡会は関町南北町会と関町北三丁目町会で運営しています。災害時には町会・防災会が地域の方々への連絡や支援係になります。
- ・定期的に行政との連絡会が開催され地域の問題を提起しています。
- ・困ったときの助け合いができる。地域の人とふれあう機会が増えることで見守りにも役立っています。
- ・子供達の見守り活動として防犯パトロールも実施しています。

町会加入は企業団体様にとってもメリットがいくつかあると思います。

- ・地域住民との繋がりができる。
- ・企業団体として発災時対策のヒントがえられる。
- ・従業員の安全対策につながる。
- ・地域社会の貢献ができる。

是非とも関町南北町会に加入して頂きますよう願っているところです。  
会費は年1口1,000円で、企業団体様におかれては5口から10口でお願いしております。  
何卒宜しく願い申し上げます。

【連絡先】 関町南北町会長 〇〇〇 電話〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

## 【マンション管理組合への加入説明、依頼状の例（関町南北町会：抜粋）】

<p>〇〇管理組合 様  <span style="float: right;">関町南北町会会長〇〇〇〇</span></p> <p>残暑お見舞い申し上げます。  先月末には懇談の場をつくっていただきありがとうございました。</p> <p>町会は同じ地域で暮らしている人々が集まり運営している組織で、町会加入は任意であることから、マンション毎の実情に合わせていくことも考えなければなりません。</p> <p>1. 南北町会区域内での町会加入のメリットデメリットを整理してみました。</p> <p>○メリット</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏まつり、関小応援団祭り、ちびっこ相撲など子供の交流が盛んである。また地域住民の交流を深めるために各種イベントを開催しています。</li> <li>・首都直下型地震の想定では、関町南北町会の区域は危険度が低く、消防や警察が十分行き届かないこともあることから「自分たちのまちは自分たちで守る」と防災会を立ち上げました。毎年、防災訓練や体験学習会を実施しています。</li> <li>・行政の要望を伝えやすい。定期的に練馬区各課との連絡会が開催され地域の問題を提起しています。</li> <li>・困ったときの助け合いができる。地域の人とふれあう機会が増えることで見守りにも役立ちます。</li> <li>・災害時の情報や物資は避難拠点である関町小学校に届きます。関町小学校避難拠点運営連絡会は関町南北町会と関町北三丁目町会で運営しています。災害時には町会・防災会が地域の方々への連絡や支援係になります。</li> <li>・子供達の見守り活動として防犯パトロールも実施しています。</li> </ul> <p>○デメリット</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町会費がかかる。関町南北町会では一般会員年1,000円です。マンションでも個人加入の場合は同じです。会費はイベントの開催、防災会・長寿会への支援、寄付に使用しています。なお個人からの寄付は集めません。</li> <li>・役員になれば会議への参加が望まれます。役員は当番制をとっていません。町会役員の任期は2年で役員の選任は役員2名以上の推薦となっています。月1回役員会を開催しています。現役世代の役員等には役務を定めてその範囲で活動しています。</li> </ul> <p>地区担当役員は現在50戸から100戸を対象としていますので、町会加入となれば貴マンションから役員が出て発言し運営に携わっていただくことも可能です。</p>	<p>2. 当面のお願い  年内、関町南北町会開催の行事へ参加をしていただき、その中で町会加入についてご検討いただければと思います。以下の行事があります。</p> <p>◇防災体験学習会  平成〇年〇月〇日(〇) 〇時～〇時半 関町小学校  住民に声掛けしますので町会員以外でも誰でも参加できます。もちろん無料です。  ゴミ袋で合羽と布団、新聞でスリッパ、ズボンでリュック、段ボールでトイレ、ペットボトルでシャワーが体験できます。起震車やはしご車もきます。応急手当やAEDの使い方も学べます。  チラシができ次第、掲示板に掲示していただきたいです。</p> <p>◇安否確認訓練  平成〇年〇月〇日(〇) 〇時～〇時 関町南四丁目・関町北二丁目の500戸対象  この訓練には貴マンションも参加していただきたいと考えています。内容については来月早々には理事長へ概要をお伝えします。</p> <p>3. 町会費の考え  平成〇年〇月〇日に国土交通省は管理費の支出のトラブルからマンション管理規約を改正し、管理費から町会費の支出ができなくなっています。この点については管理組合として議論が必要です。また管理会社との調整も必要です。  冒頭に述べましたように町会加入は任意でありますので、町会としても町会費についても再考しているところです。</p> <p>町会に加入あるいは町会に加入しないが防災活動には参加など選択肢はあると思いますので、2. で述べた行事に参加していただき平成31年度からのご入会をご検討いただければと思います。</p> <p>何卒宜しくお願い申し上げます。</p>
---	---

## (2) 町会・自治会への加入者を増やす取り組みのヒント

---

町会・自治会への加入方法などがわからずに、新しく転入してきた方が、未加入のままになっているケースがあります。近年、個人のプライバシーの観点から、新しい人への声かけなども難しくなっています。

他方で、区民意識意向調査（平成29年度）では、町会・自治会に興味があると考えer人は多く、加入していない理由として、「入り方がわからない」「活動の時間が取れない」が多くなっています。

この章では、町会・自治会に加入していない方への声かけや入会案内の説明など、加入を促す準備や行動のヒントをまとめました。

## 新しく引っ越してきた人が町会・自治会に加入しない

待っていても町会・自治会への加入は期待できません。転居してきた方には声かけから始めてみましょう。ただし、初めて会った方に「町会・自治会に加入しなさい」と言ってしまうのは逆効果になりかねません。まずはご近所として挨拶し、そして、「このまちには町会（自治会）があり、ご近所で知り合いが増えると安心です」と伝えてみてはいかがでしょうか。その場で加入せずとも、町会・自治会を知ってもらうためにパンフレットを渡す、イベントなどがあつたら誘うことを伝えるだけでもいいでしょう。まずは顔見知りになることが大切です。



### 運営の工夫・アイデア

#### 工夫① 声かけ担当を決めておく

地域に転居してきた方への声かけ担当を決めておきます。引っ越してきた方の中には、地域のことがわからず、不安に感じている方もいます。訪問時には、相手の不安や警戒感を和らげるため人数や人選に気を使いましょう。女性や同世代の方が加わると、話がはずみ、町会・自治会への加入につながりやすくなるのではないのでしょうか。

#### 工夫② 声かけの準備をしておく

転居者への声かけ内容、手渡す書類などをあらかじめ準備し、加入案内をするメンバーで共有します。「加入セット」として、町会案内パンフレット、行事一覧、申込用紙をまとめておきましょう。また、「町会・自治会は何をしているのか？」など、よくある質問に対する回答を用意しておくことで、スムーズに答えることができ、信頼も得られるのではないのでしょうか。



### 【取り組み例】

#### 町会加入の声かけ用の加入セット、資料の作成

- ・区作成のチラシなどの加入セット（次ページ参照）、資料を作成して準備し、いつでも加入の声かけをできるように準備しています。（南大泉1丁目町会、仲一自治会、豊玉西町会など）
- ・企業の社員等の業務経験やスキルを活かしたボランティア活動の仕組みを取り入れた、東京都「地域の課題解決プロボノプロジェクト」を活用し、町会員だけでなく、外部のボランティアの力を活かして加入促進のパンフレットを作成しています。（栄町町会）

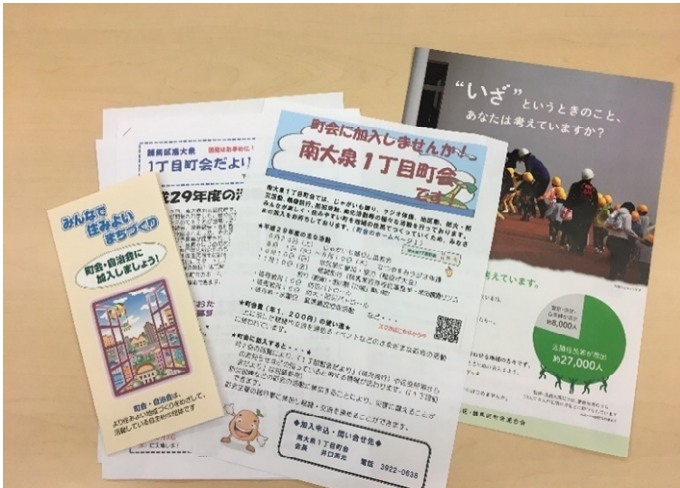
#### 不動産事業者との連携

新たに転入世帯が増える地域があつたので、協定している不動産業者を通じて働きかけを行ったところ、町会による説明会を開催することができました。説明会に参加してくれた数世帯は町会に加入し、最終的には、全20世帯のうち半分の世帯が加入しました。（南大泉1丁目町会）

※町会連合会では、東京都宅地建物取引業協会練馬区支部、全日本不動産協会東京都本部練馬支部、練馬区の四者で「練馬区における町会・自治会加入促進に関する協定」を締結しています。



## 町会加入の声かけ用の加入セット、資料例



# 仲一自治会です！

## 地域の皆さまと一緒に歩いていきます

- ・皆さまが楽しめる町を目指します
- ・防災・防犯に強い町を会員の皆さまとつくります
- ・住んで良かったと思う町づくりを行います

### 南大泉1丁目町会の例

加入促進セット(区からの資料、加入促進のお手紙、町会だより1年分、パンフレットなど)を用意し未加入者には、班長と支部長で訪問しています。

### 仲一自治会の例

自治会の意義、活動内容説明資料を作成しています。

### 豊玉西町会の例

町会の意義、活動内容、地域の歴史、地域マップを掲載した、小型(折りたたみ A6 版)のパンフレットを作成しました。

### 町会行事

会員相互の親睦を図りつつ、いざというときの助け合いにも備えた諸活動を行っています。

- 1月 新年会
- 2月 小学校へ遊び指導
- 5月 こどもの日の健のほり・総会・一斉清掃
- 7月 ラジオ体操
- 8月 納涼盆踊り
- 9月 お祭・施設見学(隔年) 敬老のお祝い
- 10月 防災訓練
- 11月 防災コンクール・一斉清掃
- 12月 歳末警戒

毎月2回 防犯パトロール  
第2・第4土曜日 資源回収

＊ 回覧によって会員の皆さんへお知らせします。  
＊ 町会行事は任意参加です。

---

### 町会費について

会費 1口 月額 100円 年間 1,200円(複数口可)  
当町会内に転入された方、および未加入の方々の加入をお待ちしています。(帯廻金制度あります。)  
お問合せ 03-3994-4069 (川瀬)

---

### 町会に入会したら良いことがありますか？

住み良い地域づくりには、地域に住む人たちがお互いに支えあえる温かい人間関係が大切です。子どもたちの健全な育成や災害時などには、日ごろからの地域の人々の交流は欠かせません。

- 回覧が回ってきます。区や町会の情報が得られます。
- 行事に参加することによって近隣の人々と顔見知りになります。
- ここが故郷になる子どもたちには、町会行事は思い出になります。
- 地域の人々と交流ができると、声かけ、支え合い、見守りができ、事故が未然に防げます。
- 防災訓練などを経験しておくことで、いざという時の準備ができます。
- 75歳以上の方には毎年町会からのお祝いが届きます。

**住みやすいまちになります**

---

### 豊玉西町会 あれこれ

**創立**  
1979年 豊玉第四町会から分離独立し、創立36周年になります。  
1980年 豊玉錦公園が開設して「ラジオ体操」が始まりました。

**学校**  
1876年に開校した豊玉小学校は、2016年に140周年を迎えます。学校のシンボルであるヒマラヤスギは練馬の名木です。  
1981年に豊玉小学校から分かれた豊玉南小学校は、開校54年目を迎えました。

**公園**

- 豊玉錦公園**  
遊具もあり、豊玉西町会の行事が行われる場所です。
- 豊玉さくら公園**  
夏にはミストが出ます。将棋盤や碁盤が備えてある場所があります。
- 富士稲荷公園**  
遊具があります。練馬の名木である、徳川家光お手植えのクスノキがあります。
- 学田公園**  
野球場、子どもの遊び場、大人の運動用具もあります。
- 豊玉こぶし公園**  
小さい公園ですが、遊具があります。年末の町会行事、歳末警戒の拠点です。

**歴史を知るには…**  
氷川神社のイサハは幹の太さ18mの練馬の名木です。三の橋庚申塔、氷川神社、正覚院、富士稲荷公園、学田公園など調べながら歩くと面白いです。

### 豊玉西町会 MAP

町会の地域では、住みよい町づくりのための日常的な活動はもちろん、季節ごとに楽しいイベントが開催されます。地図を見ながら歩いてみたら新しい発見があるかも！

**8月 納涼盆踊り**

練馬区最大級の盆踊り！手づくりの大きな傘の下で、輪になって夏休みの思い出に踊りましょう。(豊玉錦公園)

**7月 ラジオ体操**

夏休み恒例のラジオ体操。お子さんからお年寄りまで、元気にイチ、ニ、サン、スタンプ集めて景品ゲット！(豊玉錦公園)

**防犯パトロール**

毎月2回、子どもたちの下校時に合わせてパトロール。声を掛け合い安全安心な町づくり。(主に豊玉小学校周辺)

**5月 こどもの日の健のほり**

子どもたちの健やかな成長を願い、町会で一帯一帯の健のほり、青空に元氣いっぱい飛ばしています。(豊玉錦公園)

**9月 お祭り**

賑やかにおみこし・太鼓・山車が行く。さあ、祭りだ、大人も子どもも一緒に、ワッショイ、ワッショイ！(氷川神社をスタートして、町内全域を巡ります)

**町会掲示板**

練馬区や町会の情報がいっぱいあります。身近なお知らせはこの掲示板で分かれます。大いに活用しましょう。(町内全域)



## 住んでいるが、町会・自治会に加入していない人がいる

地域に住んでいても、地域の人との接点を持たず、地域の活動や町会・自治会に加入していない人もいます。その人たちには、以下のような人がいるのではないのでしょうか。

- ・町会・自治会のことを知らない。何をしているのか、イメージを持ってない。
- ・町会・自治会は自分とは無関係だと思っている。
- ・「入った方が良いかな」と思っているも、接点がなく、入り方がわからない。
- ・既にできあがっている地域のグループに、新参者として入りにくさを感じる。
- ・加入することで、役割など大きな負担を負うことになるのではと警戒している。
- ・運営への不信感（一部の人たちの考えで物事が決まってしまうのではないか、会計はどうなっているのかなど）がある。

町会・自治会側の「町会・自治会に加入してほしい」との思いとは逆に、外から見ると活動が見えにくいことがあります。まずは地域の中で接点を設け、新たに転入してきた人や若年層が参加しやすいきっかけをつくることから始めてはどうでしょうか。



### 運営の工夫・アイデア

#### 工夫① お祭りやイベントで町会・自治会の案内・受付をする

多くの人が集まるお祭りやイベントなどで、町会行事を紹介するパネルを展示したり、町会案内パンフレットの配布、加入受付の設置など、未加入の方に関心を持ってもらう工夫をしてはいかがでしょうか。

#### 工夫② ホームページで情報発信をする

若い世代は、まずインターネットで情報を検索します。町会・自治会のホームページを作成し、活動内容、イベント案内、入会方法などを情報発信して、若者・現役世代の方々の目に触れるよう努めていきましょう。



### 【取り組み例】

#### 盆踊りなどの機会を活かして町会活動を紹介

多くの人が集まる場を、活動内容を伝えるチャンスと考えて、活動の様子を伝える写真や内容をまとめたパネルを作成し、展示しています。また、盆踊りの会場に、入会案内所を設置して、直接加入の呼びかけをし、その場で申し込みができるようにしています。なお、数年前から、子育て世帯にもっと参加してもらおうと、盆踊りの始まる前に、親子で参加できるゲームや模擬店などの子ども縁日も行うようにして、幅広い世代に町会活動を紹介しています。（春日町町会）



## 地域のことに関心を持ってない人がいる

町会・自治会の大きな目的である、地域の中で助け合い、住みやすい地域をつくりたいと思っても、地域の方々が地域への関心を持っていないければ、なかなか進まないでしょう。

まずは、我がまちの歴史や地域の出来事を知ってもらうことからはじめ、地域のことに関心を持ってもらえるよう働きかけてはいかがでしょうか。



### 運営の工夫・アイデア

#### 工夫① 地域の伝統行事への参加を促す

祭りの神輿の担ぎ手を募集するなど、地域の伝統行事に参加してもらう機会を提供してはいかがでしょうか。

#### 工夫② 地域の歴史などを知ってもらう

まち歩きイベントや地域の歴史を調べてまとめる活動を通して、地域のことを理解する人を増やす取り組みをしてはいかがでしょうか。

#### 工夫③ 子どもたちが地域をふるさと思えるような取り組みをする

地域の子どもにお祭りの太鼓の叩き手をやってもらうなど、子どもたちに町会・自治会の一員として、参加していることを自覚してもらえるような取り組みをしてみてもはいかがでしょうか。

また、昔遊びを教える催しなど、子どもたちと地域の大人との接点をつくってはいかがでしょうか。



### 【取り組み例】

#### 若手と町会の接点作りに神輿の担ぎ手の募集を活用

神社の神輿を新たに建造したことをきっかけに、担ぎ手を募集。最初の1年目は絆纏を借りていましたが、2年目には会員となって自分の絆纏を作って参加するようになった方もいます。徐々に若い方とのつながりができています。(北町西町会)



#### 地域の歴史を知る活動を、人々が集まるきっかけとして活用

貫井の歴史をまとめる会、歴史について知る会を開催しています。こうした会を開催することで、地域の歴史に関心ある人が集まるきっかけをつくっています。(練馬区貫井町会)





## 町会・自治会が何をしているのか伝わっていない

地域住民から、町会・自治会活動について質問をされた経験があるのではないのでしょうか。まだ町会・自治会に加入していない方にとっては、具体的な活動のイメージが持てません。

すぐに 100% の理解や納得をしてもらうことは難しいですが、運営方針などを伝え、情報を公開し、理解を得るように心がけましょう。



### 運営の工夫・アイデア

#### 工夫① 町会・自治会だより、会報などを作成し地域で情報共有する

町会・自治会の情報を共有するために、町会・自治会の活動内容をまとめたものを定期的に作成し、会員だけでなく、未加入の方にも配布してはいかがでしょうか。会計報告も併せて掲載し、町会・自治会の透明性を高める工夫をするのも良いと思います。

#### 工夫② 地域の課題と町会・自治会の役割をまとめた案内を作成する

「新しい住民が多く、つながりが弱いため、災害時などに助け合うことが必要」など、地域住民が共有できる課題を踏まえて、町会・自治会の役割や活動内容をまとめた案内を作成しておくといいでしょう。



### 【取り組み例】

#### 町会だよりを作成し、配布しています

町会活動をより広く知ってもらうため、年 4 回町会だよりを発行し、町会員はもちろん、町会内にある学校にも配布しています。内容も、町会活動の報告のほか、学校のことや、地域の歴史なども加え、広く地域住民に興味を持ってもらえるように工夫をしています。(春日町町会)

#### 子ども太鼓が町会活動の入口に

橋戸町会では、橋戸子ども太鼓(小学生 40 名程度参加)を発足。卒業生で太鼓を続けたい方は「橋戸太鼓」の活動に参加できますが、参加できるのは町会員のみとしています。また、橋戸太鼓の活動をした人の中から、現役世代で構成され、イベント運営を担う「橋戸会」や、さらに、「橋戸町会」に関わる人が現れるなど、子どもから高齢者まで、様々な年代の方が、参加できる受け皿を設けて、活動への橋渡しをしています。(橋戸町会)

#### 定期的な活動や広報で、町会の活動 PR に

町内の清掃や夜回りを、月 1 回のペースで実施しています。また、町会便りは月 2 回発行して回覧しています。町会の様々な取り組みを知ってもらうため、定期的な活動や広報活動を行うことで、町会活動を PR しています。(南大泉六丁目町会)

## イベントなどでチラシを配っても参加者が増えない

イベントに興味があっても、知らない方ばかりだと参加しづらいものです。また、日常の仕事や子育てなどにより忙しい中で、イベントへ参加してもらうには、参加する目的やメリットを明確にしておく必要があります。



### 運営の工夫・アイデア

#### 工夫① 「子どものいるファミリー層向け」、「〇〇エリア向け」など対象者を明確にする

目的や対象者が明確でないと、チラシを見ても「自分のことだ」と思ってもらえません。同じ防災訓練でも、「〇〇町一丁目の方のための訓練」と対象者を具体的に示した方がより関心を持っていただけます。「町会・自治会のイベントに初めての人も歓迎です」などと明記すると、初めての方も参加しやすくなります。

#### 工夫② 「なぜ、実施しているのか？」を明確にする

ファミリーイベント、防災訓練というだけでなく、サブタイトルとして「～新しく住んだ子育て世帯が地域で知り合いを増やすために～」 「～災害時の避難生活を実際に体験するために～」など、実施する理由や目的を明示した方が、関心が高まるのではないのでしょうか。

#### 工夫③ 参加したらできること、メリットを明確にする

「子ども神輿に参加するための半纏をお貸しできます」「山車をひきに参加してくれたお子様にはお菓子を無料で配布します」「防災訓練に参加するとハシゴ車に乗れます」「防災グッズを差し上げます」など、参加したらできること・メリットを明確に示してはいかがでしょうか。

#### 工夫④ イベントの雰囲気や参加者のイメージを持てるようにする

どんな人がイベントに参加しているのか、自分と同じくらいの年代の方も参加しているのかなどがわかった方が参加しやすくなります。チラシやホームページなどで過去の写真や動画を掲載するなどの工夫も有効です。



### 【取り組み例】

#### 地域ガイドブックの編集員として若手を募集

町会加入と町会会館利用の促進を図るパンフレットを、若い世代にも興味を持ってもらえる内容にしたいと考え、編集委員を募集したところ、10名ほどの若者が応募してくれました。なかには、「町会に関心はあったが入り方がわからなかった」という方もいました。地域ガイドブック「こたけぐらし」の発行・配布により、町会に加入してくれる方も増えました。また、その時のメンバーが地域のイベント「こたけあそび」の運営にも関わっています。(小竹町会)

## 町会・自治会内で加入促進の考え方に違いがある

町会・自治会の活動に対する考え方は人によって違います。加入促進についても、積極的に進めたい方もいれば、「無理して入ってもらわなくても良い」という考えを持つ方もいるでしょう。声かけやイベントなども、どこまでやるべきかは、人によって様々な考え方があります。

町会・自治会の現状や必要な人員について会員で共有したうえで、加入促進の考え方を整理しておくといいでしょう。



### 運営の工夫・アイデア

#### 工夫① 町会・自治会の現状とこれからについて話し合う

町会・自治会が、どうして必要なのか、どのような人に参加してもらいたいのか、話し合ってみましょう。町会・自治会の現状について、加入率（加入世帯数／総世帯数）とその推移をデータで示し、加入状況についての問題意識を共有してはいかがでしょうか。現状を認識したうえで、無理なく継続して実行するには、何をどの程度まで行うのか、どう役割分担するのか、話し合ってみましょう。

#### 工夫② 外部への情報発信の準備をともに行う

パンフレット、会報、ホームページなどの作成や見直しの際に、あらためて町会・自治会の意義や活動内容を話し合うことで、理解を深めることができます。また、自分が作成に関与したパンフレットやチラシ、ホームページは、使おう、広げようとの思いに発展し、活動の継続・促進につながるのではないのでしょうか。

#### 工夫③ まずは顔見知りになる

日頃から地域活動に関わっていない方とは、お互いに「知らない人」という存在です。知らない人から誘われても町会・自治会活動には参加しづらいものです。最初は、近所に住む人として挨拶し、知り合うことから始めることも大切です。日常生活、PTAなどの活動から顔見知りになって、生活の一つの要素として町会・自治会活動に触れたり、地域のイベントに誘う際に町会・自治会を紹介するのも良いと思います。会員の立場としても「町会・自治会へ勧誘する」というのは負担を感じがちですが、「近所で知り合い、町会・自治会のことも話す」と考えると、気楽に声かけもできるでしょう。

### (3) 町会・自治会活動の担い手不足に対応するヒント

---

少子高齢化や共働き家庭の増加など、地域住民のライフスタイルは、多様化し、従来の活動頻度、活動時間では参加しづらい人も増えていきます。地域には、自分の関心のある分野や可能な範囲で活動に参加したいという方も少なからずいますが、まずはその人たちが参加しやすい運営方法を考えることが必要です。

そこで、町会・自治会の活動においても、多様なライフスタイルに合わせた参加の形を認め、少しでも活動に参加できる環境を整える必要があります。

この章では、担い手不足に対して、様々な町会・自治会が、自らの活動を見直した例を紹介しています。柔軟な対応によって参加者を増やし、町会・自治会活動の担い手を広げる取り組みのヒントとして役立ててください。

## ライフスタイルが多様化し、活動できる時間が合わない

例えば、共働きで、朝早く家を出て、夜遅い時間に帰ってくる世帯の方は、町会・自治会の活動に関心があっても、「いつもは参加できないから」「迷惑をかけてはいけないから」と参加を見合わせてしまいがちです。また、回覧板を回すのが遅れたりするなどのトラブルも起こりがちです。

まずは、少しでも参加していただく工夫をしてみてくださいはいかがでしょうか。限定的でも参加してもらうことで、会員同士の接点ができ、継続的な参加につなげることが可能になります。「町会員は、同じ時間・同じ場所で動くもの」と考えがちですが、様々な参加の方法があっても良いという発想の転換も必要ではないでしょうか。



### 運営の工夫・アイデア

#### 工夫① 活動の時間帯を工夫する

町会・自治会の活動に関心があっても、時間が合わない方もいます。大切な会議は、多様なライフスタイルの方が参加しやすい時間帯（例えば、土曜日の午前中）に設定するなどの工夫も必要です。また、休日のイベント運営のみを担当する役割を設けるなど工夫をすることで、多くの方が活動に参加できるのではないのでしょうか。

#### 工夫② 特定のイベントや活動にだけ参加する仕組みをつくる

活動全般に参加するのは難しいと考える人のために、お祭り、一斉清掃、子ども向けイベントなど一つの行事に限定した参加を認める仕組みづくりをしてみてくださいはいかがでしょうか。

#### 工夫③ 目的を限定した「ボランティア」として参加してもらう

日頃、町会・自治会の活動に参加していない人の中には、ホームページやチラシなどを作ることが得意な方もいます。「ホームページやチラシの作成ボランティア」など目的を限定したボランティアとして参加を募ってみてはいかがでしょうか。



### 【取り組み例】

#### 企画単位で手伝ってくれる人を募集

一斉清掃、地区祭、ジャガイモ掘りなど企画単位で手伝ってくれる人を募集して行事を運営しています。「おたすけ隊員」の活動をきっかけに「町会活動が楽しい」「町会活動を身近に感じた」という人が増えました。（南大泉1丁目町会）

#### 参加可能な時間帯を把握

青年部に入る時に、お休みの日や得意なことなどを書いてもらい、参加しやすい時間帯や役割を考える工夫をしています。（仲一自治会）

## 子育て世帯が町会・自治会と接点を持っていない

子育て世帯は忙しく、町会・自治会と接点を持ちづらいと考える方もいます。

ただ、身近な場所で、子どもが喜ぶイベントがあれば参加したいと考え、子ども神輿、子ども縁日、餅つきなどの行事には関心を示す方もいます。まずは、町会・自治会のイベントに参加してもらい、町会・自治会の活動に理解を深め、少しずつ運営にも関わってもらうことで、関係を深めていくことも大切です。

また、PTA やスポーツクラブなど、日頃、町会・自治会に参加していない子育て世帯も加わっている活動と連携することで、接点を広げてみてはいかがでしょうか。



### 運営の工夫・アイデア

#### 工夫① 子ども向けイベントを通じ、町会・自治会との接点を広げる

地域の行事（盆踊りや地区祭など）に、子ども向けのプログラム（子ども縁日、ゲームなど）を企画し、子育て世帯の参加を促している町会・自治会もあります。子育て世帯の役員から「自分の子どもならどんなプログラムがあれば喜ぶか」という視点で意見を集め、企画をつくってみてはいかがでしょうか。

#### 工夫② 地域ならではのイベントを企画する

お祭り太鼓練習会、地元農家とのジャガイモ掘り・菜園活動など、地域ならではの企画を行うことで関心をもってもらえるよう工夫をしてみましょう。

#### 工夫③ PTA など子育て世帯の所属している団体とのつながりをつくる

例えば、町会・自治会主催のラジオ体操を PTA と協力して参加を呼びかける、地域のパトロールを小学校・中学校の部活動と一緒に取り組む、祭りの絆纏などを小学校の運動会へ貸与するなど、子育て世帯の所属している団体との接点を広げる取り組みをしてみましょう。



### 【取り組み例】

#### 学校との関係や親子イベントで子育て世帯との接点をつくる

- ・学校評議員に町会から人を出して、保護者と顔見知りになるようにしています。また、親子で参加できるスポーツ大会などを開催することで多くのファミリー世帯が地域のイベントに参加するきっかけを作っています。（練馬区貫井町会）
- ・地主が多い地域特性を活かして、「菜園部」という活動をしています。小さいお子さんのいるご家庭に声をかけて、参加してもらっています。ブルーベリー摘みなども、多くの家族連れが参加しています。（羽沢町会 27 ページに写真掲載）





## 定年退職した人などが、町会・自治会活動に関わってくれない

仕事中心の生活で、地域の活動に参加しないまま退職を迎える方は増えています。そのような方は、町会・自治会の活動のことをよく知らず、イメージも持ちづらいため、退職して時間ができても、町会・自治会の活動に関心を持てなかったり、地域に知り合いがいないため参加しづらさを感じてしまうこともあります。

ただ、退職後に自分が役立つ機会を探しているという方もいるので、最初の一步を促していく工夫も必要でしょう。



### 運営の工夫・アイデア

#### 工夫① 町会・自治会運営の一部を「お試し」で手伝ってもらう

初めて町会・自治会に関わる時は、うまくやっていけるか、負担が大きくなるか、誰もが不安を感じているものです。サロン活動、交通安全運動への参加など、役立っている実感を持ちやすい活動を「お試し」で手伝ってもらうなど、段階的に参加してもらえるように工夫してみてもいいでしょうか。

#### 工夫② 運営についての不安、考えを最初に話し合う機会をつくる

町会・自治会の運営についての考え方もそれぞれあります。誤解も少なくないので、最初の段階で、町会運営についての考えを少数で話し合うような機会を設けることで、理解を深めてもらうことも大切です。その際、すぐには参加が難しいとの意見があったとしても、一つの意見として受けとめることで、参加しやすくなるのではないのでしょうか。

#### 工夫③ 趣味の会など、退職された方との接点を作っていく

まち歩き、そば打ち、男の料理教室など、趣味の仲間をつくれるようなイベントを企画し、抵抗感なく参加できるような仕組みをつくりましょう。また、そのような活動を地域でしている団体と連携したりすることで、地域の人々との接点を広げる工夫をしてみてもいいでしょうか。



### 【取り組み例】

#### 趣味で集まる場（サロン）の立上げ

同じ趣味の方が集い、交流を深め、広く仲間を集める、趣味のネットワーク会を作っています。仲間同士で「趣味のサロン」を立上げたい人の支援や、発表の場を提供する「趣味の作品展」を開催しています。サロンの立上げには、みどりのまちづくりセンターのまちづくり活動助成を活用して、講師代、材料費などの一部を補助しています。現在、折り紙、布絵、手作り雑貨など複数のサロンが自主的に活動をしています。（桜台自治会）



## 次の役員を見つけるのに苦労している

「町会・自治会の役員は負担が大きい」というイメージがあり、なかなか新しい役員のなり手を確保できない状況があります。「頼まれて仕方なく役員をしたのに、丸投げされ、会員からは責められてばかり」という状況では、誰もなりたいとは思わないものです。また、高齢のために役職を引き受けられず、町会・自治会そのものを退会するケースも見受けられます。

特定の人に負担をかけないようにする役割分担、新しく役員になった人を助ける仕組みなど、運営の仕方を見直すことも必要になっています。



### 運営の工夫・アイデア

#### 工夫① 段階的に役割を担ってもらう

最初は、お祭りやイベントを手伝ってもらうところから始め、内容や事務量などを理解しながら取り組んでもらいます。徐々に関係を築き、次に企画の役割を担ってもらうことも良いでしょう。

#### 工夫② 任期を定める

役割に任期を定めることで、引き受けやすくしてみてもいいでしょうか。

#### 工夫③ 役員のやりがいを感じてもらえるように工夫する

イベントの準備などは、どうしても負担がかかりますが、感謝されるとやりがいを感じるものです。イベントで参加者の方にアンケートを実施し、役員への感謝の声を集め、それを担当者に伝えることで、やりがいを感じるよう工夫してみてもいいでしょうか。

#### 工夫④ 個人に負担や責任を押し付けない運営方法にする

役員になったばかりの人が運営をすると、失敗したり、進め方に迷うこともあります。そのような時、いきなり本人を責めるのではなく、いったん町会長に声を集め、町会長とその人とで話し合う仕組みを整えたり、それぞれが忙しい中で役員を担ってくれていることへの感謝を言葉にするなど、支える工夫をしてみてもいいでしょうか。

#### 工夫⑤ 地域活動に関心のある人に声をかける

防災会、PTA、青少年委員など、既に地域活動をされている方に声をかけて役員を引き受けてもらえたという町会・自治会もあります。



## 【取り組み例】

### 任期を設定する

役員の任期は2年と決めています。そのように決めておくと、「2年なら」といって、引き受けてくれる人がいます。次第に、町会活動に興味がわき、任期が終わった後も役員を続けてくれる方がいます。また、常に次の役員候補がいないか、全役員でアンテナを立てるようにもしています。

(南大泉4丁目第1町会)

### 地域の声を還元し、担い手のやりがいづくりとする

1年に1回、班長へアンケートをしています。活動についての意見をもらうためです。また、バス旅行の参加者にもアンケート調査を行い、様々な人の意見を把握し、それらの意見を活動に活かすようにしています。そうしたアンケート調査の中に、町会活動全般に対する設問も入れておくと「役員さんへの感謝」が書かれていることもあり、それを役員へフィードバックして、やりがいを持ってもらうようにもしています。(南大泉1丁目町会)

### 若手・現役世代が中心に活動する場を町会の別組織として発足

地域の若い人の「地域の役に立ちたい」という自主性を尊重し、町会、商店会から独立して、自分たちで地域に役立つ活動ができるように、「橋戸会」を発足しました。橋戸町会員である、30～50代の若者、ファミリー層がメンバーとなり、盆踊りや地域祭などのイベントの時の会場設営や・出店・交通整理、土支田児童遊園の清掃と巡回などを行っています。月1回の町会役員会にも数名が参加するなどの連携もしており、地域の活動や町会活動に触れる機会もつくっています。

(橋戸町会)

## 活動量が多い・活動費の持ち出しなど、担い手の負担への懸念がある

町会・自治会の活動で懸念されるのが、活動に伴う負担です。防犯・防災活動、見守り、回覧板などによる情報共有、季節の行事や地域住民同士の交流など多岐にわたる活動を行っているため、役員になると多くの時間を割かないと対応できない状況に陥りがちです。また、備品購入など場合によって一部の活動経費が役員の持ち出しとなっている場合もあります。

ある程度の負担は仕方ないのですが、より多くの人に参加できるように、行事や打合せの回数を減らす、時間を短くする、必要なくなった活動は止めるなど、今までの活動内容を見直すことも必要です。また、地域の他の団体の力を借り、行事や活動の一部を任せ、役員の負担を減らすなどの工夫も考えられます。また、活動費用を賄えるように、町会費に加えて、自主活動から収入を得ることも考えていく必要があるでしょう。



### 運営の工夫・アイデア

#### 工夫① 活動内容を見直す

町会・自治会の活動は一つ一つに意味のあるものですが、時代の変化により、負担が大きくなっているもの、必要性が小さくなっているものもあります。活動内容の必要性や優先順位を見直し、場合によっては、活動の回数や時間を減らす、運営が難しいものは止めるという判断も必要なのではないでしょうか。

#### 工夫② インターネットを活用した情報共有

回覧板は、有効な情報共有の手段ではありますが、ライフスタイルの違いから、回覧されない場合があります。既存の仕組みに加え、インターネットを活用した情報共有など、新たな視点での見直しも必要です。

#### 工夫③ 活動の企画、運営に外部の団体や人の力を借りる

防災、福祉など専門性が必要な活動、日頃接点のない人や子育て世帯のつながりづくりなどは、地域で活動している他団体、学生ボランティアに企画や運営の協力をお願いしたり、活動に相乗りするなど、会員の負担を減らす工夫をしてみてもいいかもしれません。

#### 工夫④ 活動費を生み出す

資源回収、イベントなどで、町会費や区の補助金以外の収入を生み出すことで、町会・自治会の備品を充実させ、会員へのメリットをつくったりしている町会・自治会もあります。活動資金が不足しがちな場合、役員など個人の持ち出しに頼らず、町会・自治会として収入を生み出す工夫をしてみてもいいかもしれません。



## 【取り組み例】

### 町会活動を見直し、活動量を削減

「仕事や家族、プライベートが優先でも良い」という方針にすることで、無理なく参加できる町会運営としました。(南大泉4丁目第1町会)

### ホームページを活用した回覧板

回覧板が必要でない世帯の方にも対応できるよう、町会の回覧板を練馬区立区民協働交流センターのホームページに掲載して、インターネット上で見られるようにしています。(田柄町会)

### 大学生ボランティアの活用

区内大学を回り、音楽イベントへの出演やイベントの手伝いなどをお願いしました。若い人が加わることで、行事の開催もスムーズになり、多様な企画が可能になりました。(南田中団地第1自治会)

### 古紙回収・リサイクルによる資金を活動費に活用

- ・古紙回収の収入から加入世帯にゴミ袋を配るなどしています。(南大泉4丁目第1町会)
- ・リサイクル活動を行うことで、自治会の収入としているので、会費を安く設定できています。(光が丘パークタウン四季の香式番街自治会)

## 【「子育て世帯と町会・自治会との接点づくり」の取り組み例】

地域特性を活かして、子育て世帯向けに菜園部の活動をしています。  
(羽沢町会 22 ページ取り組み例掲載)



羽沢町会イベントのお知らせ

子育て世帯にやさしい！

## ブルーベリー摘み

平成29年8月6日(日)  
(※天中上、小雨対応)

時間：9:30 から 11:00 まで

場所：浅見農園 (羽沢 2-25-9)

googleマップが開きます

摘み取ったブルーベリーは 200円/100g で販売となります。

※町会員の皆さんにはブルーベリー1パックを差し上げます！  
ただし一家庭につき1パックに限りです。(100パック限定)

※町会に未加入の方は当日加入手続きも受け付けます！  
加会費として150円をご用意ください。

参加のお申し込みは  
羽沢町会事務局 (電話 2-5-3) 番 03-3992-3291 (FAX 兼用) まで

## (4) 地域の変化に対応する町会・自治会運営のヒント

町会・自治会は、地域の全世帯・住民に開かれていて、地縁に基づく互助の中心を担っています。ご近所同士の助け合いは、日ごろからの顔見知りがある関係があるからこそ、いざという時に、個々人ではできないことに対応でき、その力を発揮します。

しかし、地域住民のライフスタイルの多様化により、身近な地域の中での関係づくりが難しくなってきています。これからの町会・自治会は、多様化した住民のライフスタイルを踏まえ、柔軟な対応を考えていくことが求められているのではないのでしょうか。

ただし、町会・自治会の手は限られています。地域の状況を踏まえながら、まずはできるところから取り組んだり、自分たちではできない部分については、他の団体と連携して取り組むなどの工夫をしながら進めていってはどうでしょうか。

ここでは、高齢化、子育て、防犯・防災、インターネット社会の進展に対して、どのように対応すればよいかというヒントをまとめました。

## 高齢化する地域で、高齢者の孤立・介護などの問題に対応したい

高齢化が急速に進むとともに、地域の間関係が希薄化しつつある中で、引きこもりや孤立して生活している方がいます。また、親の介護や認知症などの問題を抱えている方もいます。このような問題は、外からは見えにくいいため、地域の課題になりづらかったり、若い世帯は関心を持ちづらかったりします。その結果、問題が放置され、孤独死などが生じることがあります。



### 運営の工夫・アイデア

#### 工夫① 地域の高齢者の状況を把握する

困ったときに頼るにも、助けるにも顔見知りでないとは難しいものです。敬老金の配布、見守り活動、災害時要援護者への訪問活動などを通して、一人暮らし高齢者や介護をしている世帯と顔見知りになるようにしている町会・自治会もあります。

#### 工夫② サロン活動など居場所づくり、見守り活動に取り組む

高齢者向けの地域のサロン活動を通して、孤立を防ぎ、外出機会を増やす活動をしている町会・自治会もあります。その際、社会福祉協議会や民生委員と連携することで、運営方法や対象者への声かけなどを進めることができます。

また、新聞配達、家電店、ゴミ出しサービス、配食サービスなどの事業や活動を行うお店やNPOなどと協力して、見守り活動を行っている町会・自治会もあります。

#### 工夫③ 連絡網を整える

現在、高齢者の方でもスマートフォンを使える方が増えています。スマートフォン教室などを通して、困った時お互いに気軽に連絡できる仕組みづくりもできるのでしょうか。

#### 工夫④ 地域団体の活動を紹介する

町会・自治会だけで高齢者を支える活動は難しい場合があります。区や社会福祉協議会の講座やイベント、体操や趣味の地域団体などの情報を高齢者にお知らせするのも効果的です。そのような団体との連携を進めている町会・自治会もあります。



### 【取り組み例】

#### ボランティア登録制度の実施

高齢者世帯のちょっとした困りごと（電球の交換、パソコンのトラブル、水道関係）を手伝う「ボランティア登録制度」（有償：半日 500 円程度）を作り、運用しています。御用聞きも行っていきます。そうしたところから、繋がりができたり、高齢者の様子を把握できるといった副次的な効果もでていきます。（光が丘パークタウン公園南住宅自治会）



## 地域に接点を持っていない子育て世代が増えているので対応したい

ライフスタイルの多様化などにより、地域との関係が希薄な子育て世代が増えつつあります。そうした方々の中には、孤立した子育てに大きなストレスを感じている方もいます。子育て世帯向けのイベントや交流の場も増えていますが、身近なところがないと感じている人もいるかもしれません。

また、様々な事情により、親の帰りが遅く、放課後、子どもが長時間1人で過ごしている世帯もあります。また、親が忙しいことで、健康な食事や十分な運動ができていない子どももいます。さらに、障害がある子など、地域の支えを必要としている家族もいます。

子どもが健康で元気に過ごせる町は、暮らしやすい町となり、地域の活力にもなります。子どもや子育て世帯の課題解決にも、町会・自治会の力が役立つことがあるのではないのでしょうか。



### 運営の工夫・アイデア

#### 工夫① イベントや活動を通して、課題を抱える家族を把握する

お祭りや地区祭などの子育て世帯が参加するイベントを通じて知り合いとなり、その後のアンケートなどで状況を把握するようにしている町会・自治会もあります。

#### 工夫② 子どもの居場所づくりに取り組む

地域で子育てを支え、身近な場所での子どもの居場所をつくるために、子ども向けサロンの運営などに取り組んでいる町会・自治会もあります。

#### 工夫③ 地域団体などの活動と連携する

学校と連携することで、地域での子どもの状況を把握できます。また、子育て世帯の課題の理解や支援活動を専門的に行っている地域団体と連携してイベントなどを開催し、地域での助け合いを立ち上げるきっかけづくりをしてみたいはいかがでしょうか。



### 【取り組み例】

#### 子どもサロン活動

毎月1回は何か会員が集まれる企画を実施しています。また、女性の会員が中心となり、近所の子どもを集めて遊び相手になったり、勉強を教えたりする「子どもサロン」もしています。

(光が丘パークタウン四季の香式番街自治会)

#### フラワーポットで見守り活動

希望家庭にフラワーポットを2鉢配布して、水やりをしながら、子どもたちを見守る活動を行っています。家の外にでる用事を作り、町全体で目配りをする仕組みです。(南大泉連合町会)



## 災害や犯罪に対して不安が高まる中、防災・防犯の活動を強化したい

台風などの自然災害の増加や大規模化、大震災の恐れ、地域での犯罪などの不安が高まる中、地域の助け合いで防災・防犯を進めることは、町会・自治会の大切な存在意義の一つでもあります。しかし、防災・防犯活動に参加する住民は、なかなか増えていかない現状もあります。

この地域では何が課題なのか、それに対して町会・自治会がどのように対応しているのかをまとめ、説明していくことも必要ではないでしょうか。



### 運営の工夫・アイデア

#### 工夫① 当事者意識を持てるように工夫する

区の防災・防犯情報、冊子「東京防災」、ハザードマップなどを利用し、地域で何が課題なのか整理し、地図などにまとめることで、地域の課題を見えやすくする活動を行っている町会・自治会があります。自分の住む地域では、どのような被害が出る可能性があるか、数字も交えて具体的に示すことで、当事者意識を持てるように工夫してみてもいかがでしょうか。

#### 工夫② 町会・自治会として行うことを決めておく

防災会、消防、行政と話し合い、それぞれができること、カバーできていないことを確認し、町会・自治会として行うこと、行わないことを決めておきます。町会・自治会にしかできないことが何かが明確になることで、防災訓練などの意義が共有しやすくなるのではないのでしょうか。

#### 工夫③ 地域団体と組んで、新しい発想の活動を行う

外部の専門家、NPO などの協力を得て、防災×街歩き、防災×お花見、防災×避難所体験キャンプなど、初めての人も関心を持ちやすい企画を行っている町会・自治会もあります。また、活動の様子を写真付きでレポートすることで、次回から参加してみようと思う人を増やす工夫してみてもいかがでしょうか。



### 【取り組み例】

#### 地域特性を踏まえた訓練を行う

消防車が入れない地域ということを手を逆に、スタンドパイプ設置の重要性を地域で共有し、それを防災活動の目標にしています。一緒に利用訓練をすることで、コミュニティ意識を持てるようになっています。(関町南北町会)

#### 町会内施設の防災活動にも参加

町会としても、障害者支援センター、特別養護老人ホームの防災活動に参加しています。消防隊が駆け付けるまでの入居者の救護および初期消火を地元の消防団と協力し合い、町会としての役割を訓練しています。日頃から地域の防災活動に協力することで、地域の防災力が高まります。

(西大泉五丁目町会)

## 防災拠点を町会活動の場として活用

防災拠点を町会活動の場とする工夫をしました。町会の日常活動と非日常の防災活動を結びつけることで、地域の防災意識をさらに高め、また、防災活動への協力も広がっていきました。(長月町会)

## さくら祭での防災訓練

4月のさくら祭の時に、防災の講義や応急救護訓練、非常食炊き出しなどを行っています。毎年、多くの家族連れが参加していますので、防災意識啓発に役立っています。(練馬中央自治会)

## 防犯カメラの導入

上井草駅から数分の地域ですが、シャッター商店街化で、朝夕の通勤時間帯以外は、人通りも少なく、また、杉並区との区界となる千川通りは、練馬、杉並両区の行政や警察の目が行き届きにくく防犯上の不安がありました。高齢化でパトロール要員も集まらないことから、防犯カメラを導入しました。侵入盗や放火の抑止に効果が出ています。しかし、画像入手の手续に数日を要する為、当初期待の地域高齢化による徘徊不明者の捜索には活用はできていません。(あやめ会)

### **【防災への取り組みの様子】**

- ①スタンドパイプ設置の防災訓練を行っています (関町南北町会)



- ②さくら祭の時の防災訓練 (応急救護の練習)。家族連れも多く参加します (練馬中央自治会)



## インターネットの利用者が増えている状況に対応したい

多くの方がインターネットで情報を受け取る時代の中で、ホームページは、町会・自治会に加入していない、特に若い世代に対して、町会の情報や地域の情報を届けることができ、回覧板に代わる町内で情報を共有する一つ的手段としても有効です。ただし、ホームページ作成は、専門的な知識が必要になり、時間もかかることから、なかなか難しいものです。また、SNSなどに慣れていない方はハードルを感じる方もいるでしょう。

現在の役員だけでは難しい場合、外部の力を借りたり、地域の若手に参画してもらう機会として考えてみてはどうでしょうか。



### 運営の工夫・アイデア

#### 工夫① 練馬区の町会・自治会独自ホームページ作成支援を活用する

練馬区では、町会・自治会活動への関心を高めるため、町会・自治会独自ホームページ作成支援を平成 29 年 9 月から行っています。実際に、いくつかの町会がこの仕組みを使ってホームページの作成・運用を行っています。

#### 工夫② SNS を活用した情報発信をする

若者だけでなく、シニア世代もコミュニケーションツールとして、Facebook や Twitter、などの SNS を利用する人が増えています。町会・自治会の情報や活動風景の写真を SNS に投稿して共有することで、コミュニケーションの活性化を図ってみてはいかがでしょうか。

#### 工夫③ ボランティアをお願いする

地域にはホームページや SNS などに詳しい人、日頃使っている人がいると思われます。町会・自治会内で、「ホームページ作成ボランティア募集」のように募集をし、地域の若手に参加してもらう一つのチャンスとすることもできるでしょう。



### 【インターネット活用の取り組み例】

#### ホームページで情報発信や受付を強化

掲示板や回覧板が中心だった広報活動を強化し、小竹町会の活動を発信するために、平成 29 年度の東京都「地域の課題解決プロボノプロジェクト」を活用して、町会のホームページを作成しました。ホームページには、町会の活動やイベントの紹介に加えて、町会のメリット、町会長インタビュー、町会活動以外の町のイベントなども掲載しています。また、加入について、電話でもメールでも受け付けられるようにしています。(小竹町会)



## ブログを使った町会活動の報告

ホームページの中で、日々の町会活動についての開催報告を、写真とともに積極的に情報発信しています。また、町会便りもホームページの中で閲覧できるようになっています。自分たちだけでホームページを立ち上げて運用するのは難しいと考え、専門業者を活用しています。ホームページに掲載する内容や文章などは、自分たちで考え作成し、それを業者に渡してホームページへの情報掲載や古い情報の削除をお願いしています。(栄町町会)

## 区のホームページ作成支援を使って作成

- ・ 区の町会・自治会ホームページ作成支援の仕組みを活用し、独自のホームページ作成に取り組みました。思っていた以上に、情報の更新などがしやすく重宝しています。(関町南北町会)
- ・ 活動情報の提供が増え、常時更新によって閲覧者が増加しています。(練馬区貫井町会)



## 【SNSの活用の取り組み例】

### Facebook を活用して、行事の様子などを情報発信

町会で Facebook ページを立上げ、日々の町会の行事（盆踊り、記念フェスティバル、防災活動、古布回収活動等）の様子を情報発信しています。(旭町二丁目町会)

### Twitter を活用して、行事の様子などを情報発信

町会の Twitter の公式アカウントから情報発信しています。各行事の様子、参加者募集、防犯活動のお誘いに加え、行事開催報告は、ホームページの URL を掲載して誘導するようにしています。(大泉町二丁目町会)

旭町二丁目町会 Facebook ページ画面



大泉町二丁目町会 Twitter 画面



## 4. 町会・自治会に対する支援事業

### (1) 練馬区による町会・自治会に対する支援事業

平成30年4月1日 時点

事業名称	内 容	備考（補助額等）
自治活動推進 補助事業	町会・自治会が独自に実施する 自治活動などに対して、 財政的な支援をしています。	基礎割：世帯数を 500 世帯単位で補助額を設定。補助額範囲：15,000 円～65,000 円 世帯割：1 世帯@120 円×世帯数
町会・自治会 活動保険事業	町会員・自治会員の皆様が安心して 町会・自治会の活動に参加できるよう 活動保険に区が一括して加入しています。	活動中に他人にけがや損害を与えた場合 身体賠償：限度額 1 名 6,000 万 財物賠償：限度額 1 事故 100 万円 活動中に自分が怪我をした場合 死亡・後遺症：6 万円～200 万円 入院：1 日 3,000 円 通院：1 日 1,000 円 ※入院・通院ともに事故発生より 180 日 以内 通院上限 90 日
加入促進用 パンフレット・ 冊子等の作成	町会・自治会の加入率の向上を図るため、 加入案内パンフレットやデザイン入り フォルダーバッグを配布しています。	必要数を配布しています。
掲示板建替等 支援事業	町会・自治会が所有する掲示板で、経年劣 化等の理由により修繕または建替えが必 要な場合、あるいは、新規に掲示板を設 置する場合に、経費の一部を助成してい ます。	補助率：工事費用の 2 分の 1 ----- 補助額： 修繕：上限額 1 件 20,000 円 建替え、新規設置：上限額 1 件 50,000 円 アクリル板付き掲示板に建替え、新規設置 協力掲示板：上限額 1 件 100,000 円 協力掲示板以外：上限額 1 件 80,000 円
掲示板 掲示委託事業	公設掲示板や協力掲示板へのポスター 掲示などについて地元の町会・自治会に 委託しています。	1 基：年間 30,000 円
町会・自治会 会館建設等に 対する補助事業	町会・自治会会館の建設等にかかる 経費の一部を助成しています。	補助率：工事費用の 2 分の 1 ----- 補助額：ア 新築、建替えまたは購入 ⇒上限額 1,000 万円 イ 増築、改修または修繕 ⇒上限額 500 万円
ホームページ 情報発信等支援	町会・自治会独自ホームページ作成などを 支援しています。	町会・自治会の自己負担はありません。 ※詳細については、協働推進課協働推進担当係 (03-5984-1247) へお問い合わせください。

## (2) 東京都や一般財団法人自治総合センターによる町会・自治会に対する支援事業

平成30年4月1日 時点

事業名称	内容	備考（補助額等）
東京都 地域の底力 発展事業助成	多くの地域住民の参加・利用により地域の課題解決を図るための事業に対して助成するものです。	助成額は、事業に使うもの（お祭りのテント、チラシ・ポスター等印刷経費、炊き出し訓練の食材費等）を対象に20万円～200万円となっています。 ※申請する事業区分等によって助成金額および助成率が異なります。
東京都 地域の課題 解決プロボノ プロジェクト	町会・自治会の課題やニーズに応じて編成されたプロボノ <sup>(※)</sup> チームの支援を受け、ホームページの制作やニーズ調査等、地域の課題解決につながる成果物の制作に取り組むものです。 ※企業の社員等の業務経験やスキルを活かしたボランティア活動	①個別支援コース プロボノチームが主体となって成果物の制作に取り組みます。 ②伴走支援コース 先進事例をモデルに、町会・自治会の皆さまが主体となって成果物の制作に取り組んでいただきます。プロボノチームは側面支援として助言等のお手伝いをします。
東京都 地域活動支援 アドバイザー 派遣	加入促進や担い手育成等、町会・自治会の皆さまが抱えている課題や悩み事に対し、アドバイスや意見交換をするものです。	町会・自治会が希望するテーマに沿って、「地域活動支援アドバイザー」として専門家を派遣し、1回当たり2時間を目安に、「講義・座学型」又は「ワークショップ・グループ講義型」のいずれかの方法でアドバイスを実施します。
自治総合 センター 一般コミュニ ティ助成事業	コミュニティ活動の推進を図るために直接必要な備品等を整備するものです。 ① 町会・自治会館の備品整備 →机、いす、プロジェクター、印刷機等の購入 ② イベント用品の整備 →ステージ、テント、音響機器、発電機等の購入 ③ 宗教と関係ないお祭り備品の整備 →太鼓、提灯、みこし等の購入・修繕	100万円～250万円 ※10万円未満は対象外。 ※申請希望額が100万円未満の場合でも、練馬区が申請できる場合があります。
自治総合 センター コミュニティ センター助成 事業	町会・自治会館の建設、大規模修繕およびその施設に必要な備品の整備に関わる経費を助成するものです。	助成率：建設等に係る経費の5分の3以内 ----- 助成額：1,500万円 ※コミュニティセンター助成事業については、東京都全体で申請可能な件数が3件と定められています。

※詳細については、地域振興課地域コミュニティ支援係（03-5984-1039）へお問い合わせください。



## 練馬区 町会・自治会のあり方検討会議 <検討会議の構成>

### ■町会・自治会（全20名）

所属	役職	氏名
練馬区町会連合会	会長	加藤 政春
栄町町会	会長	小島 量喜代
羽沢町会	会計	武田 康宏
仲一自治会	副会長	小池 裕
練馬区貫井町会	評議員	本橋 雅夫
春日町町会	副会長	大城 哲雄
北町西町会	副会長	田中 喜芳
田柄町会	事務長	吉田 邦夫
豊玉西町会	総務部長	佐藤 辰雄
練馬中央自治会	第4部部长	齋藤 孝一
光が丘地区連合協議会	副会長（自治会部部长）	高瀬 欣一
光が丘パークタウン公園南住宅自治会	会長	手塚 俊雄
南田中団地第1自治会	会長	高山 明子
あやめ会	会長	松浦 康夫
関町南北町会	会長	野口 渉
長月町会	会長	川井 淳子
西大泉五丁目町会	副会長	内堀 吉男
南大泉1丁目町会	副会長	豊 哲男
南大泉4丁目第1町会	会長	岡本 敬子
南大泉六丁目町会	会長	鈴木 芳樹

### ■練馬区

所属	氏名
練馬区専門調査員	斉藤 睦
地域文化部 地域振興課長	富田 孝
地域文化部 地域振興課 地域コミュニティ支援係長	山森 清一
地域文化部 地域振興課 地域コミュニティ支援係	日野田 遼
地域文化部 協働推進課長	宮原 正量
地域文化部 協働推進課 協働推進担当係長	関口 一成
地域文化部 協働推進課 協働推進担当係	高橋 勇歩

### ■（協力）株式会社エンパブリック

代表：広石 拓司
スタッフ：矢部 純代 高橋 明子 齊藤 充 渡辺 由美子 川上 貴之 秋元 由梨

**これからの町会・自治会運営のヒント集**  
～誰もが住みよいまちを自分たちの手で実現するために～

平成 31 年（2019 年）1 月 発行

**【作成】**

練馬区町会・自治会のあり方検討会議

**【発行・問合せ】**

練馬区協働推進課協働推進担当係

電話：03-5984-1247（直通） FAX：03-3557-1351

